

アメリカ国際ビジネス 研修実施報告

[報告者]
会員サービス課 竹川日菜

福井県内企業の国際的なビジネス人材の育成を目的として、県内6社から7名の社員をフィンドレー市に派遣。12日間の日程で、企業訪問、プレゼンテーション発表、現地経済人や学生との交流などを行いました。

【研修概要】 日 程：10月21日(月)～11月1日(金)
研 修 先：アメリカオハイオ州フィンドレー市
派遣企業：(株)アサヒオプティカル・興和江守(株)・福井鋳螺(株)・
フクビ化学工業(株)・(株)松浦機械製作所・福井商工会議所

	オハイオ州	フィンドレー市
人 口	1,200 万人	4 万人
面 積	116,096 km ²	44.8 km ²
特 徴	アメリカの中西部の北東に位置し、デトロイトやシカゴ、ニューヨークといった主要な都市と近い。加えてオハイオ州全体で平坦な地形で、主要幹線道路があることから輸送業が盛ん。田園風景が広がる地域があれば、自動車関連の工場が立ち並ぶ工業地帯もある。大統領を多く輩出している州としても有名。	オハイオ州の北西部に位置し、人口の約 9 割を白人が占める、典型的なアメリカの田舎町。夏は 30℃ 近くなる一方で、冬は -7℃ と、凍えそうなほど寒くなる。埼玉県川口市との友好都市協定や、フィンドレー大学と福井大学での交換留学の受け入れなど、様々な日本とのつながりを持つ。



講義・ミーティングの内容

【ポール・ワーステル氏】

U.S スチールと神戸製鋼の合弁会社（プロテック社）の元 CEO。2009 年のリーマンショックを乗り切った経験から、経営においては「ミッション・ビジョン・バリュー」が重要だと説明。自分の「ミッション・ビジョン・バリュー」を考えるワークを行い、人生の目標を考えました。

【ダン・シーファー氏】

フィンドレー・ハンコック郡経済開発局の局長。経済開発局は経済団体で、企業誘致やすでに拠点を置く企業への支援を行っています。フィンドレー市は人口約 4 万人の小都市にも関わらず日本、中国、ドイツ、デンマークなど国際色豊かなコミュニティを作り上げており、2000 年頃から小都市投資ランキングでも上位にランクイン。経済開発局、フィンドレー市、フィンドレー大学の 3 者で協力して進める税金の優遇措置や地域の賑わい創生などの取り組みについて話を聞きました。

【典子ミルズ氏】

米国ホンダで 20 年にわたり国際人事業務に従事。ご自身の経験から日本人が英語を苦手とする理由や日本とアメリカのコミュニケーションの違いを解説いただきました。

【クリス・モーザー氏】

フィンドレー大学の教授として人材開発、コーチングなどの授業を担当。チームのメンバーの発達の状態に応じてリーダーシップのスタイルを変える事が大切だと学びました。



リーダーシップの授業

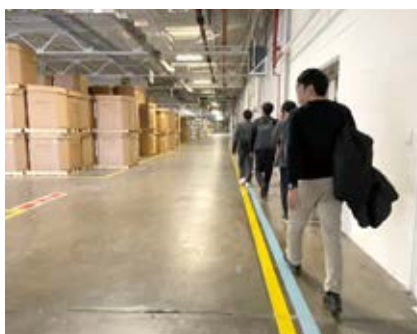
企業視察

7つの企業を訪問し、英語で事業の説明を聞いたり、工場を視察しました。特に、多様な人が公平に受け入れられていると感じるとともに、人材が安心してキャリアを築ける環境をつくる **D (Diversity / 多様性) E (Equity / 公平性) I (Inclusion / 包括性)** の取り組みが印象的でした。他にも急成長を遂げた戦略や、日本のビジネスとの違いなど、興味深い話をたくさん聞くことが出来ました。

訪問日	訪問企業	事業・取り組み
10/23	マラソン・ペトロリアム社 従業員が4万人を超える、アメリカトップの石油会社。精油から小売まで行う。	24時間体制で、貨物船で運ばれた石油を広大なパイプラインで運んでいる。会社の拡大に伴い、多くの人材が必要となったため、会社全体でDEIに取り組み、働きやすい環境を整備。人種や宗教のワーキンググループがあり、活動を通して社内交流を行っている。
10/23	ワールプール社 冷蔵庫や食洗器などのキッチン周りの家電を中心に扱うメーカー。	マラソン・ペトロリアム社と同様で、DEIに注力している。顧客となるのは老若男女の一般消費者であるため、顧客の気持ちを理解し、ニーズを知るためにも社員の多様性を重視。他にも、従業員が希望するポジションに就けるように支援する仕組みもある。
10/24	ヴァルフィルム社 ブラジルに本社を構える包装材メーカー。アメリカ唯一の工場をフィンドレーに構える。	7か国で48ヶ所の施設を持ち、1年間で16億トンの包装資材を製造している。素材であるプラスチックが廃棄物にならないような、循環型の仕組みを実践。2030年までに100%再生可能エネルギーでの生産を、2040年までに生産量の100%のリサイクル率を目指している。
10/28	オハイオロジスティクス社 約400社の顧客を抱える中西部最大級の物流業者。1988年創業。	大都市にアクセスしやすいというフィンドレーの立地を活かして成長。自動で発注や請求書発行ができる物流倉庫サービスも持つ。代表のチャック氏は「Using eye and ear (目と耳を使え)」をモットーに、物流にニーズをくみ取った付加価値をつけたサービスを提案している。
10/28	メネル・ミリング社 130年続く老舗の小麦製粉会社。家族経営で、現在は5代目となっている。	オハイオ州、ノースカロライナ州（アメリカ南部）を中心に、6つの製粉工場、2つのベーカリーミックス施設を持つ。製菓メーカーやホテルへの小麦粉の卸売だけでなく、加工品の製造・販売も行う。
10/29	DNC ハイドロリックス社 ダンプカーや航空機、エレベーターなどにも使われる油圧シリンダーの修理を手掛ける。	油圧シリンダーの修理に加えて、関連する部品の製造や販売、運搬など様々な事業を展開し、拡大。急成長を遂げている。廊下に社員の写真を飾っている他、誕生日パーティーの開催や社内でも協力してクリスマスビデオを作成し、社員のロイヤリティ（愛社心）向上に努めている。
10/30	ロキ社 自動車向けのフィルターを製造する日本企業のアメリカ法人。本社は静岡県浜松市。	エンジンから出る空気をろ過したり、音を小さくするフィルターを扱う。最近アメリカでは人件費が高騰しているため、省人化や生産拠点を外国に移行して対応。日本人との働き方の違いを意識してアメリカ人従業員に接している。



オハイオロジスティクス社



ヴァルフィルム社



マラソン社

プレゼンテーション発表

本研修の大きなゴールの一つである「プレゼンテーション発表」。英語での発表に苦戦しつつ、ジェスチャーやユーモアを交えてアメリカンスタイルで発表するという貴重な経験ができました。

【福井のグローバル化】と「異文化間コミュニケーション」について発表】

大学生に向けて、福井県の概要や福井が世界に誇る技術、福井で働く外国人材などについて紹介しました。また、仕事で海外とのやり取りが多い参加者は異文化の顧客とのコミュニケーションで気を付けていることを発表。プレゼンテーション発表後は学生とフィンドレーのグローバル化についてディスカッションしました。



福井のグローバル化の発表



異文化間コミュニケーションの発表



大学生とのディスカッション

【大学生向けに自社を紹介】

参加者がブースを構え、大学での専攻や趣味、家族などの自己紹介と、自社商品やサービスを紹介。大学生が2～3人のグループとなり、ブースを回りました。普段扱う商品・サービスを外国の学生に理解してもらえるよう工夫を凝らしたことで、自身の会社や商品、サービスへの理解が更に深まりました。発表後はフィンドレー大学での生活の話の話を聞いたりして交流しました。



学生に向けて自社を紹介

【社会人向けに自社を紹介】

研修締めくくりの最終プレゼンテーション発表。視察先などの関係者が来場し、参加者がそれぞれの自社の商品やサービスを紹介しました。アメリカのプレゼンテーション発表では、一方的ではなく、聞いている人を巻き込んだ、双方向の会話が大切だと学んでいたため、いかに巻き込めるかを意識して発表しました。1時間を通して何度も発表したのですが、質問や雑談などコミュニケーションが活発にされており、終始和やかな雰囲気でした。質問をすると、これまで考えてみなかった回答が返ってきて、新たな気付きも得られました。



最終プレゼンテーション発表

【お別れスピーチ】

社会人向けの最終プレゼンテーションの後にお別れパーティーが開かれました。そこで、研修を1日ごとに振り返り、関わった皆さんに感謝を伝えるのと共に、研修を通して学んだこと、これからの目標を自分のミッション・ビジョン・バリューにまとめ、発表しました。本研修で初めて英語でプレゼンテーション発表をするという参加者がほとんどでしたが、お別れスピーチで笑いをとることが出来るほどアメリカのプレゼンテーションスタイルに慣れ、成長することができました。



お別れスピーチ

ネットワーキング

アメリカのビジネスにおいて非常に重要視されているのが人脈形成。名刺交換ではなく、趣味や家族といったごく身近な話題（スモールトーク）から始まるアメリカの文化に触れ、その練習も兼ねて様々な交流会に参加しました。



地元経済人との立食交流会



ジョン州議会議員の自宅訪問



経済開発局の歓迎会



訪問した企業の代表一家と交流



日系企業の社長3名と会食



フィンドレー市長のホームパーティー

参加者の感想

【スピーキング力】

プログラムを通して、たくさんの方とお会いすることが出来ました。毎日のように授業、企業視察、スモールトークがあり、日に日に自分のスピーキング力が上がってくるのを感じました。今後の海外メーカーとのやりとりも臆することなく堂々とふるまえると思います。

【他の人との関わり方】

これまでは個人個人が全力で自分の仕事をして結果を出すことが会社に貢献する唯一にして最高の手段だと考えていましたが、会社の中で、または自分が属するコミュニティでリーダーになることも面白いのではと考えを改めさせられたし、実践したいと感じました。

研修を終えて



本研修は、滞在した9日間で講義企業視察、プレゼンテーション発表、ネットワーキングと様々なアクティビティがあり、大変充実した内容でした。英語力・知識の向上はもちろん、初めての経験や気づきの連続で、心身共に大きく成長できました。温かく迎えてくれたフィンドレーの皆さん、慣れない環境で共に頑張った参加者の皆さんと関係が築けたことも大きな成果だと感じます。